

新種モササウルス類

フォスフォロサウルス・ポンペテレガンス

Phosphorosaurus ponpetelegans sp. nov. を発表①



フォスフォロサウルス・ポンペテレガンス化石 (HMG-1528) (穂別博物館展示)



レプリカで組み立てた頭骨 (下あごを除く)

これまでに、モササウルス穂別博物館第10標本として広報してきた*標本が学術論文で新種として発表されました。

モササウルス類はヘビやオオトカゲの仲間で、白亜紀後期(約1億~6,600万年前)に世界中の海で繁栄したグループです。映画「ジュラシック・ワールド」にも登場し話題を呼んだことでも知られています。モササウルス類はこれまでに世界で70種以上が知られています。日本ではこれまでに40個体弱が発見され、その内3種類が新種として知られてい

ました。その内1種が北海道三笠市産のもので、残りの2種はむかわ町穂別産(穂別博物館蔵)のものです。今回の発表したものは当館の普及員(現・学芸員)によって、むかわ町穂別から2009年に採集されたもので、日本で4種目の新種モササウルス類です。

鶴川支流の清流から産出した今回の新種は、「フォスフォロサウルス・ポンペテレガンス(*Phosphorosaurus ponpetelegans*)」と命名されました。新種名ポンペテレガンスの由来は、アイヌ語で「小川・清流の一」という意味で、穂別の語源でもある「ポンペット(ponpet-)」、および標本の保存状態がすばらしい・産地の清流が美しいという意味を込めたラテン語の「エレガンス(*elegans*)」を組み合わせた造語です。

*ホッピーだより No. 313、324、326、340 など参照

学芸員 西村智弘・櫻井和彦

監修 シンシナティ大学 小西卓哉助教

世界の恐竜研究 最前線 !! を実施しました

the Dinosaur study in the world-



フィリップ・カリー教授



(中央) 通訳の高崎竜司氏 (北大)
(右) 小林快次准教授



関係者写真



会場の様子

むかわ町教育委員会とむかわ町の主催で、普及講演会を 2015 年 11 月 28 日に開催しました。町内外から約 150 名の方が参加されました。

講師の小林快次准教授 (北大総博) は、カナダ、アラスカ、モンゴル、北海道での恐竜化石調査について、フィリップ・カリー教授 (カナダ アルバータ大学) は、カナダの恐竜研究史とカナダ発の最新恐竜研究についてお話されました。

恐竜研究者として著名なフィリップ・カリー教授は 1992 年に穂別町 (当時) の英語指導助手で友人のジョン・マリアン氏を訪ねて来られました。当時は発見されていなかった恐竜化石が、数年前にむかわ町穂別で発見され、カリー教授が再び来町されたことに感慨深いものがありました。



1992 年のカリー博士 (左)。
穂別町 (当時)

むかわ町穂別博物館

開館時間 9:30~17:00 (最終入館 16:30)

観覧料 個人 / 小 ~ 高校生: 100 円

大人 300 円

団体 / 小 ~ 高校生: 50 円

大人 200 円

※団体は 10 人以上 ※小学生未満は無料

1 月 2016 年						
日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

2 月 2016 年						
日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29					

休館日 町民無料観覧日

